

日本天文学会 2001 年秋季年会のお知らせ

2001 年秋季年会は、2001 年 10 月 4 日(木)から 6 日(土)までの 3 日間、イーグレひめじ（兵庫県姫路市）にて開催されます。プログラムや交通案内等は、月報の 94 巻 9 月号（2001 年 8 月 20 日発行）に掲載予定です。

(1) 受付期間および連絡先

事項		受付期間・期限	送付先・連絡先等 [下記参照]	関連 項目
講演申し込み	郵送	2001年7月2日(月) 必着	天文学会年会係	(3)(4) (5)(6)
	電子メール	2001年6月28日(木)正午から 2001年7月5日(木)正午まで	送り先はtennetでアナウンスする	
液晶プロジェクター、ビデオの使用		講演申し込み期間中(原則)	年会開催地理事	(7)
ポストデッドライン・ペーパー		2001年10月1日(月)まで	年会実行委員長	(8)
最新情報コーナー		年会会期中まで	年会実行委員長	(9)
旅費一部補助		講演申し込みと同時に	予稿原稿の該当欄にチェックする	(10)
保育室の利用申し込み		2001年8月31日(金)まで	年会実行委員(保育室担当)	(11)
講演のキャンセル等		分かった時点ですぐに	年会実行委員長	(12)
各種の会合		2001年8月31日(金)まで	年会開催地理事	(13)
特別セッションの企画 (天文教育フォーラムも含む) 招待講演・特別講演の講演者の推薦		2001年7月2日(月)まで	年会実行委員長	(14)
登録料等の支払い		年会会期中	年会会場受付	(15)
企画セッションの提案		随時	年会実行委員長	(5)
ジュニアセッション	講演申し込み(郵送)	2001年7月13日(金) 必着	天文学会年会係	(16)
	予稿原稿(郵送)	2001年8月31日(金) 締切予定	天文学会年会係	

連絡先

◆日本天文学会年会係 長谷川直子

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係

e-mail : jimu@nenkai.asj.or.jp

電話 : 0422-31-5488 FAX : 0422-31-5487

◆年会開催地理事 黒田武彦（兵庫県立西はりま天文台）

〒679-5313 兵庫県佐用郡佐用町西河内 407-2)

e-mail : kuroda@nhao.go.jp

電話 : 0790-82-3886 FAX : 0790-82-3514

◆年会実行委員長（年会理事） 茂山俊和（東京大学）

e-mail : shigeyama@astron.s.u-tokyo.ac.jp

電話 : 03-5841-8055 FAX : 03-5841-7644

◎年会開催期間（2001 年 10 月 4 日～ 6 日）の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

(2) 前回の年会からの変更点

- ・企画セッションは、「突発天体・突発現象」と「超巨大ブラックホールの形成」です。
- ・同じ企画セッションは一度設けたら連続して直後の年会では設けないことにします。
- ・分野の変更を行います。「星形成」という分野名を「星・惑星形成」に変更し、「位置天文学」という分野は設けないことにします。
- ・極端に短い予稿による申し込みなど、不適切と判断される申し込みは受け付けられない場合があります。

(3) 講演の申し込みにおける注意 《重要》

- ・講演は、天文学に関する完成度の高い研究に限ります。極端に短い予稿による申し込みなど、不適切と判断される申し込みは受け付けられない場合があります。
- ・講演の形式は、(a)口頭講演（10分間の口頭発表と5分間の質疑応答）、(b)ポスター講演・口頭発表付き（ポスターの掲示と3分間の口頭発表）、(c)ポスター講演・口頭発表無し（ポスターの掲示のみ）の3種類です。ただし、講演数が多い場合には、並行セッション数を減らすために講演時間が短縮される場合もあります。
- ・複数の講演の申し込みもできますが、(a)口頭講演は同一講演者について1件までです。
- ・必ず講演者の名前の前に○印を付けてください。講演者は、必ずしも筆頭著者である必要はありません。
- ・郵送での申し込みは1講演につき1枚の申込用紙に記入してお送りください。電子メールでの申し込みも、1講演につき1通の電子メールで申し込んでください。
- ・同一講演について二重の申し込み（例えば、電子メールと郵送の両方で申し込んだり、電子メールを複数送ることなど）は決してしないでください。このような申し込みがなされた場合は、受理いたしません。誤って二重の申し込みをしてしまった場合には、ただちに年会実行委員長までご連絡ください。
- ・関連するいくつかの講演について発表の順序に希望がある場合には、講演申し込み期間内に、年会実行委員長までご相談ください。

(4) 講演の申し込み方法

◆郵送による申し込みの場合

- ・規定の申込用紙に記入し、封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、日本天文学会年会係までお送りください。
- ・用紙の右側の部分には、申し込む分野、講演者に関する情報、発表形式などを記入してください。
- ・正会員（学生）の方で、旅費補助を申請される方（申請資格は(10)参照）は該当欄にチェックをし出発地（日本国内に限る）を書いてください。
- ・用紙の左側の部分が90%程度に縮小されて予稿集に印刷されます。
- ・分野（キーワード）、題名、氏名（所属）は、左詰めで記入してください（氏名の欄には、講演者も含めて、全員の氏名を記入してください。また講演者名の直前には○印を付けてください）。
- ・予稿の本文は、氏名の下の大きな空欄内に黒で明瞭に書いてください（枠線からはみ出ないように）。
- ・印刷した別紙を原稿用紙に貼りつける場合は、粘着テープなどは使わずに、糊で確実に貼ってください。
- ・申し込み用の原稿用紙が不足する場合は、必要枚数を天文学会年会係まで請求してください。

◆電子メールによる申し込みの場合

- ・電子メールでの申し込み方法につきましては、申し込み1ヶ月ほど前にtennetを通して連絡します。tennetから直接情報を入手できない方は、tennet加入者にお聞きください。
また、WWW (<http://www.asj.or.jp/nenkai/>)にも掲載されます。電子メールでの申し込みで不明な点は、年会実行委員長にお問い合わせください。
- ・電子メールでの申し込み受付は、自動処理されています。(1)に記載されている期間以外はメールを受け付けませんので、ご注意ください。受付開始・終了時刻は、日本時間の正午となっています。また、指定された項目以外が書かれてあってもそれは無視されます。
- ・電子メールによる申し込みでの予稿の書き方につきましては、郵送による申し込みに準じます。異なる

点につきましては、申し込み方法と一緒に tennet を通して連絡します。

- ・ LaTeX 形式で書いていただきますが、誤り無く印刷されることを十分確認してから、1回だけ申し込みを行ってください。同一講演について複数のメールを送ることは絶対にしないでください。
- ・ 送られた申し込みのメールに必要な事項が記入されているかどうか確認された後、折り返し受付番号を記した電子メールが投稿されたアドレスに届きますので、必ず受付番号を確認してください。
- ・ 学会事務所から講演申込者に連絡をする必要がある場合、講演を申し込まれたメールアドレスが使われることがあります。ご自分のメールアドレスでないところから投稿される場合には、ご注意ください。
- ・ 電子メールでの申し込みの場合、予稿本文が WWW に掲載されます。支障のある方は、ご連絡ください。
- ・ 非会員の方も、電子メールでの申し込みができます。
- ・ パソコンの機種に依存した文字を使うと印刷されないことがあります。特に、ローマ数字（例：I, II）や○で囲んだ数字（例：①）が問題になることが多いですので、このような文字を使うことは避けてください。

◆ 予稿における著者名と所属の書き方

- ・ 著者名の欄には、著者全員の氏名を記入してください。
- ・ 講演者が筆頭著者かどうかに関わらず、講演者の名前の直前には、必ず全角の○の記号を付けてください。
例：○天文太郎（国立天文台）
例：天文太郎（国立天文台）、○星野宇宙（東大理）
- ・ 著者名に記入していただいたデータは、そのままプログラム（一覧表）に使用されます。著者名の所属を記入するとき、上付きの数字や記号などは使わずに、氏名の後に括弧書きで記入するようにしてください。
好ましい例：天文太郎（国立天文台）、星野宇宙（東大理）
好ましくない例：天文太郎¹、星野宇宙²（¹国立天文台、²東大理）
- ・ 所属はなるべく短縮して記入してください。また、所属が同じ場合には、なるべくまとめてください。
好ましい例：星野宇宙（東大理）
好ましくない例：星野宇宙（東京大学理学部）

(5) 分野と「企画セッション」

- ・ 講演分野は、以下の 14 分野です。
K. 天体力学, L. 太陽系, M. 太陽, N. 恒星, P. 星・惑星形成, Q. 星間現象, R. 銀河,
S. 活動銀河核, T. 銀河団, U. 宇宙論, V. 地上観測機器, W. 飛翔体観測機器, X. 情報処理,
Y. 天文教育・その他
- ・ 上記分野以外に「企画セッション」を行います。今回の年会でのテーマは下記の 2 つです。こちらのセッションで講演したい方は、分野として下記の名称をご記入ください。（講演の形式は、通常のセッションと同じです。）
A. 突発天体・突発現象, B. 超巨大ブラックホールの形成
- ・ 次回以降の年会での「企画セッション」のテーマは随時受け付けています。年会実行委員長までご連絡ください。
- ・ 《企画セッション変更点》同じ企画セッションは一度設けたら連続して直後の年会では設けないことにします。つまり、ある企画セッションは最も頻繁に開かれる場合、隔年会毎ということになります。

(6) キーワード

- ・ 分野のあとにプログラム編成のため、内容を最もよく表すキーワードをご記入ください [例：銀河団（重力レンズ、ダークマター）]。
- ・ キーワードはご自分で自由に選んでいただけますが、「A. 突発天体・突発現象」、「M. 太陽」、「N. 恒星」、「R. 銀河」、「V. 地上観測機器」の各分野につきましては、以下の「推奨キーワード」の中からご自分の講演に最も関係が深いもの（複数可）を選んで、キーワードの先頭に入れてくださるようお願いいたします。これは、講演のプログラムを編成する上で参考にさせていただくためのものです。該当するものが無い場合は、ご自分で選んでいただいたキーワードだけで結構です。

◎推奨キーワード

- 突発天体・突発現象：「太陽」,「太陽系」,「新星」,「激変星」,「超新星」,「X線トランジェント」,
「活動銀河核」,「マイクロレンズ」,「GRB」,「観測機器」,「観測体制」
- 太陽：「太陽内部」,「光球・彩層」,「活動領域」,「プロミネンス」,「フレア」,
「コロナ」,「CME・太陽風」
- 恒星：「超新星」,「コンパクト星」,「巨星」
- 銀河：「銀河形成」,「銀河進化・星形成史」,「近傍銀河」,「銀河系」
- 地上観測機器：「電波」,「赤外」,「可視」,「重力波」,「高エネルギー γ 線」,「宇宙線」

(7) 講演で使える機器およびポスターボード

- ・口頭での発表は、オーバーヘッドプロジェクター（OHP）を使用してください。
- ・スライドの使用は原則として考えていません。
- ・ビデオ装置や液晶プロジェクターは、(a)口頭講演（10分発表）のみ使用の申し込みができます。これらの装置の使用を希望される方は、(1)に記載されている期日までに、年会開催地理事までご連絡ください。このときには、申し込んだ分野、講演のタイトル、講演者名、連絡先をお知らせください。
- ・ビデオや液晶プロジェクターは、会場や機材の都合によっては使えない場合があります。希望されても使用できないこともありますのでご了承ください。機器が使用できるかどうかにつきましては、年会開催地理事にお問い合わせください。
- ・液晶プロジェクターを使用される方は、接続するパソコン等をご持参ください。ただし、機種によっては液晶プロジェクターに接続できない場合もあります。詳細は、年会開催地理事までご相談ください。
- ・パソコンを液晶プロジェクターに接続して発表される方は、トラブルに備えてOHPでの発表も準備してください。また、セッション前にパソコンの接続試験を必ず行ってください。（液晶プロジェクターにトラブルがあっても、講演時間は厳守していただきます。）
- ・ビデオを使われる方も、セッション前に上映のための確認をしてください。
- ・他に支障をきたさない限り、プロジェクター等の機材を個人で持ち込むことは可能です。この場合にも、事前に年会開催地理事にご相談ください。
- ・ポスターボードの大きさは、プログラムに掲載します。（通常は、縦 180 cm、横 90 cm です。）

(8) ポストデッドライン・ペーパー

- ・年会の申し込み期間締切後も、ポストデッドライン・ペーパー（PDL）として講演を受け付けます。
- ・PDLは、単に講演申し込みの締切日に間に合わなかったものではなく、IAU Circularに掲載されるような緊急性・トピックス性に富んだものに限定されます。具体的には、約半年後の次の年会での発表まで待つことができない明確な理由（個人的理由は不可）が必要です。通常の申し込みよりもかなり受け付けの基準が厳しくなります。
- ・PDLを申し込まれる方は、(1)に記載されている期日までに内容を年会実行委員長までお知らせください。
- ・PDLの講演方法は原則として、ポスター発表のみとなります。3分間の口頭発表を希望される方は申し出てください。プログラムに余裕があれば、口頭発表していただける場合もあります。
- ・PDLの予稿は次の年会の予稿集に掲載されます。予稿原稿は、発表が受理された後に作成していただきます。予稿原稿は、郵送による申し込みと同様に予稿原稿用紙に記入して、日本天文学会年会係まで郵送していただくこととなります。

(9) 最新情報コーナー

- ・ポストデッドライン・ペーパーの他に、最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、ポストデッドライン・ペーパーよりは緩い基準で受け付けますが、申し込み締切に間に合わなかったような講演を掲示することは避けてください。また、年会での講演とはなりません。予稿集等には掲載されません。
- ・発表の形式はポスターのみで、口頭発表はありません。
- ・希望される方は、年会実行委員長までご連絡ください。最新情報コーナーへの掲示については年会開催時まで受け付けますが、掲示のスペースには限りがありますので、なるべく早めにお申し込みください。

スペースが無くなれば、受け付けを終了します。

(10) 学生等の旅費一部補助

- ・年会出席旅費補助を受けることができる人は、講演者であり、天文学会の正会員のうち学生に対する割引会費を適用されていて、なおかつ正式な給与を受けていない人に限ります。
- ・補助を希望する場合は、講演を申し込むときに予稿原稿の旅費補助の欄にチェックをしてください。
- ・2001年度会費未納の方は旅費の補助は受けられません。
- ・近距離の場合は旅費補助がされない場合があります。
- ・補助金支給の決定については、特に連絡致しません。
- ・補助金は年会会場受付にてお渡ししますので印鑑をご持参ください。年会終了後にはお渡しできません。

(11) 天文学会会期中の保育室

- ・保育室を設置する予定です。詳しい内容と申し込み手続きにつきましては、天文学会のWWWに掲載します (<http://www.asj.or.jp/nenkai/>)。
- ・WWWがアクセスできない方は、加藤万里子年会実行委員（保育室担当）まで、電子メール (mariko@sunrise.hc.keio.ac.jp) か FAX (045-566-1102) でお問い合わせください。
- ・申し込みの締め切りは(1)に記載されているとおりですが、できる限り利用者の皆さんの便宜を図りたいと思いますので、利用されたい方は上記担当者までご相談ください。

(12) 講演のキャンセルや変更

- ・講演につきましては、できる限りキャンセルすることのないよう、慎重にお申し込みください。やむを得ず講演をキャンセルしたり講演者などを変更したりする場合には、次の点にご注意ください。
- ・講演をキャンセルや変更することになった場合は、速やかに年会実行委員長まで連絡してください。
- ・講演できなくなった場合、理由によっては代理講演を認めますので、年会実行委員長までご相談ください。
- ・講演のキャンセルがあった場合には、次の年会の予稿集で報告します。
- ・講演をキャンセルする場合や講演者が変更となる場合でも、基本登録料や追加講演登録料は講演を申し込まれた方がお支払いください。

※講演のキャンセルはお金と時間を無駄にすることになりますので、極力避けていただくようお願いします。

(13) 年会時の各種会合

- ・年会時に会合などのために会議室や講演会場などを使用されたい場合には、(1)に記載されている期日までに年会開催地理事までご連絡ください。年会開催地理事が、部屋の割り当てをします。
- ・会合が開ける時間帯は、ビジネスアワーかセッション等が行われていない時間帯です。
- ・会合に使える部屋には限りがあります。申し込みが多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、予めご了承ください。

(14) 特別セッション・特別講演・招待講演

- ・多くの会員が関心を持つような話題につきましては、そのテーマだけのセッションを単独で開くことができます。これを「特別セッション」と呼び、原則的には同時に他のセッション等を行いません。このようなセッションを開きたい方は、(1)に記載されている期日までに年会実行委員長までご相談ください。
- ・また、会員の多くが興味を持つようなテーマについて、講師を依頼してお話ししてもらおう「招待講演」や「特別講演」も時間が確保できれば行います。適切なテーマや講師の候補がありましたら、(1)に記載されている期日までに年会実行委員長までご連絡ください。

(15) 登録料

- ・ 年会に参加する方は、講演のあるなしに関わらず、基本登録料をお支払いください。基本登録料には、1講演までの講演登録料が含まれています。2つ以上講演される方は、追加講演登録料をお支払いください。なお、天文教育フォーラムおよびジュニアセッションのみに参加される方の基本登録料は無料です。

	会員	非会員
基本登録料	3,000 円	5,000 円 (1 講演分の講演登録料を含む)
追加講演登録料	3,000 円	3,000 円 (追加1 講演につき)
年会予稿集	2,000 円	2,000 円 (購入希望者のみ)

- ・ 基本登録料および追加講演登録料は、原則的には年会会場受付でお支払いください。振り込み等によって支払いたい方は、天文学会年会係にご相談ください。
- ・ 予稿集を郵送で購入されたい方は、会員の場合、会員番号および「2001 年秋季年会予稿集希望」と明記の上、郵便振替(下記)でご送金ください。代金は1冊 2,000 円(消費税込み、会員の場合送料は不要)です。非会員で予稿集を郵送で購入されたい方は、予稿集1冊あたり 2,000 円(消費税込み)と郵送料 160 円をご送金ください。なお、予稿集は、年会会場受付でも購入できます。(予稿集予約の葉書を学会にお送りいただいている方につきましては、手続きは不要です。)
- ・ 講演をキャンセルした場合(代理人によって講演された場合も含む)は、講演を申し込まれた方が基本登録料や追加講演登録料をお支払いください。この場合には、年会会場受付以外に、郵便振替でもお支払いいただけます。
- ・ 郵便振替： 00160-1-13595 社団法人日本天文学会

◎非会員の方へ：

年会は、主として天文学会会員の研究発表や情報交換等を通じて天文学の発展に寄与するものです。非会員の方でも講演の申し込みや年会の聴講はできますが、是非、天文学会に入会されますようお願いいたします。

(16) ジュニアセッション

- ・ 2001 年秋季年会では、第3 回ジュニアセッションを開催いたします。詳細は、p.265 をご覧ください。

茂山俊和 (年会実行委員長)